第38回（令和4年）
柏流さよなら少年野球大会

優　勝　豊上ジュニアーズ

準優勝　レッドインパルス

第三位　松戸ゴールデンファターズ

第四位　高塚新田ラークス

開催期間　令和３年１１月～令和４年３月

主　催　柏流さよなら少年野球大会　運営委員会

後　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社 共同写真企画

流　山　ボ　ー　イ　ズ　流山ロータリークラブ

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。

「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

MARUS

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ

第38回（令和4年度）
柏流さよなら少年野球大会

目　次

大会優勝旗及びトロフィー群・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第38回柏流さよなら少年野球・決勝大会概評　・・・・・・・・・・ 2

ベスト4チーム（写真）・・・・・・・・・・ 5

大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・ 7

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

第38回　柏流さよなら少年野球大会　参加チーム　・・・・・・・・・・ 21

柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3　・・・・・・・・・・・・ 23

柏流さよなら少年野球大会　開催要項　・・・・・・・・・・・・・・ 26
（令和2年12月一部改正）

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ　・・・・・・・・・・・・・・・ 27

柏流さよなら少年野球大会　役員名簿　・・・・・・・・・・・・・・ 28
（令和2年8月改選）

第36回　柏流さよなら少年野球大会　会計報告　・・・・・・・・・・ 28

※写真提供：株式会社 共同写真企画及びNER企画

柏流さよなら少年野球大会
優勝
贈 ダイワマルエス株式会社
主催 柏流さよなら大会運営委員会

☆決勝大会概評☆

豊上ジュニアーズが栄冠に輝く

レッドインパルス健闘及ばず準優勝

第３８回柏流さよなら大会の決勝大会は、今年度は６ブロックのリーグ戦首位チームが集結して、令和４年３月１２日（土）と１３日（日）の二日間にわたって開催された。

今年度の決勝大会は、前年度と同様新型コロナウイルスのまん延措置の適用によって、当初は開催が危ぶまれたが、同措置の一部解除にともない上記の期間に開催することが出来た。

この結果、決勝大会は従来のトーナメント制とは異なり、初日はＡブロックからＣブロックまでの３チームと、ＤブロックからＦブロックの３チームがそれぞれ分かれて総当り制で対戦し、２勝したチームが翌日の決勝戦に進出、１勝１敗のチームが三位決定戦に廻り、２敗したチームは失格となる方式で行われた。

決勝大会を振り返れば、初日は先ずＡブロックからＣブロック首位の大橋みどりファイターズと松戸ゴールデンファイターズ、レッドインパルスの松戸地区３チームが野田河川敷グランドＤ面で総当り戦を行ない、ＤブロックからＦブロック首位のミラクルズ、高塚新田ラークス，豊上ジュニアーズは、野田座生少年野球場で総当り戦を行った。

今年度の決勝大会は、出場６チームのうち何と４チームが松戸地区で、これはそれだけ同地区のレベルの高さを物語っているが、ほかでは柏市から出場した豊上ジュニアーズは、全国レベルの超実力派で、最終的には最強のライバル・レッドインパルスに勝利して優勝したのはさすがだった。また、唯一６チームの枠に入った流山市のミラクルズは、本来は強力な打撃を誇るチームだが、今決勝大会に限ってはその片鱗はみられなかった。

以下決勝大会の概評を記す。

３月１２日（土）

◆野田河川敷グランドＤ面・第一試合

大橋みどりファィターズ	０	０	０		０	２	０	０	＝	２
松戸ゴールデンファイターズ	２	０	０		０	０	０	１Ｘ	＝	３

初回に松戸ゴールデンファィターズが２点を先制したが、大橋みどりファィターズが５回に追いつき白熱の大接戦なった。最終的には松戸ゴールデンフアイターズが最終回に１点を挙げてサヨナラ勝ちしたものの、この両チームの実力は全くの互角で、素晴らしい試合だった。

◆野田河川敷グランドＤ面・第二試合

大橋みどりファィターズ	０	０	０		０	０	２	０	＝	２
レッドインパルス	１	０	０		２	２	２	Ｘ	＝	７

初回にレッドインパルスが１点を先制したものの、３回まではほぼ互角の展開で緊迫感溢れる試合内容だった。しかし、４回以降レッドインパルスの打線が、チャンスにタイムリー打を放って得点を挙げてから、一方的となってレッドインパルスの快勝に終わった。

◆野田河川敷グランドＤ面・第三試合

レッドインパルス	３	０	０	０	１	１	０	＝	５
松戸コールデンファイターズ	１	０	０	３	０	０	０	＝	４

初回から両チームとも点を取り合い活発な打撃戦の様相を呈したが、松戸ゴールデンファイターズが４回に３点を奪って、逆転した時は最高に盛り上がった。しかし，打力に勝るレッドインパルスが５回に同点とし、６回に勝ち越し点を挙げたのは見事だった。

この両チーム松戸市内では実力ハイレベルなライバル同士だが、この試合に限っては＜勝ったレッドインパルスの気力が勝った。

◆野田市・座生少年野球場・第一試合

ミラクルズ	０	０	０	０	０	１	＝	１
高塚新田ラークス	２	０	０	０	０	３	Ｘ ＝	４

初回に２点を先制した高塚新田ラークスは、そのまま主導権を握って試合を進めたが、ミラクルズが粘って６回に１点を挽回して、俄然接戦ムードが高まった。

時間で最終回となった６回裏に、高塚新田ラークスが３点を挙げて突き放し、そのまま攻撃中にタイムアップとなって快勝した。敗れたミラクルズは反撃が余りにも遅すぎた。

◆野田市・座生少年野球場　第二試合

高塚新田ラークス	１	０	０	０	０	０	１	＝	２
豊上ジュニアーズ	１	０	０	３	６	０	Ｘ	＝	１０

両チーム初回に１点ずつ取り合い、３回までの前半は互角の展開だった。４回に豊上ジュニアーズが３点を挙げてリードしてからは、一方的な展開となって豊上ジュニアーズの大勝に終わった。

高塚新田ラークスは前半は善戦したが、中盤の大量失点で壊滅した。

◆野田市・座生少年野球場　第三試合

ミラクルズ	０	０	０	０	０	１	０	＝	１
豊上ジュニアーズ	３	０	10	１	０	１	Ｘ	＝	１５

初回から豊上ジュニアーズの打線が爆発して３点を挙げた後、３回には何と大量１０得点を奪ってミラクルズを粉砕した。ミラクルズは主力選手の欠場があったとは言え、実力的には豊上ジュニアーズとはかなりの差があり、完封負けを免れるのが精一杯だった。

３月１３日（日）

◆三位決定戦　流山スポーツフィールドＡ面

高塚新田ラークス	０	０	０	１	０	１	０	＝	２
松戸ゴールデンファイターズ	３	０	２	０	０	１	Ｘ	＝	６

▽審判：球審・緑川　塁審・小泉、村山、藤井

勢いに勝る松戸ゴールデンファイターズが初回に３点を先制し、さらに３回には、決定的な２点を加えて、この時点でほぼ勝負を決めた。高塚新田ラークスは４回と後半の６回に各１点ずつ還して反撃したものの、前半３回までの５失点が重過ぎて、挽回するまでには至らなかった。

◆決勝戦　流山少年野球場

豊上ジュニアーズ	0	0	0	0	2	0	0	①	③	＝	6
レッドインパルス	1	0	0	0	1	0	0	①	①	＝	4

▽審判：球審・林　塁審・池戸、池、駒形

初回レッドインパルスが中犠飛で先制し、４回までは１点のリードで主導権を握っていたが、４回に一死二三塁のチャンスを潰した豊上ジュニアーズが、５回ＰＨ藤村のタイムリー安打で２点を奪って逆転したのは見事だった。しかし、その裏レッドインパルスは井桁の左越ホーランですかさず同点とするなど、両チーム一歩も譲らぬ白熱の大接戦となった。

豊上ジュニアーズが６回に一死二三塁のチャンスを潰せば、レッドインパルスも７回裏二死一二塁サヨナラ勝ちの好機を生かせず、試合はここで２－２のタイブレーク、一死満塁から攻撃の特別ルール適用で、８回に突入した。

特別回の８回、先攻の豊上ジュニアーズが、相手捕手の三塁悪投でラッキーな１点を挙げれば、その裏レッドインパルスは内野ゴロで１点を挙げて同点とするなど、この回での決着はつかなかった。

かくして特別回の２イニング目９回の攻撃に入り、豊上ジュニアーズが中村の満塁走者一掃のタイムリー安打で３点を挙げて気勢を挙げた。その裏レッドインパルスも粘り、相手投手のボークで１点を還して、なおもチャンスを続けたが、結局あと一本が出ず涙を飲んだ。

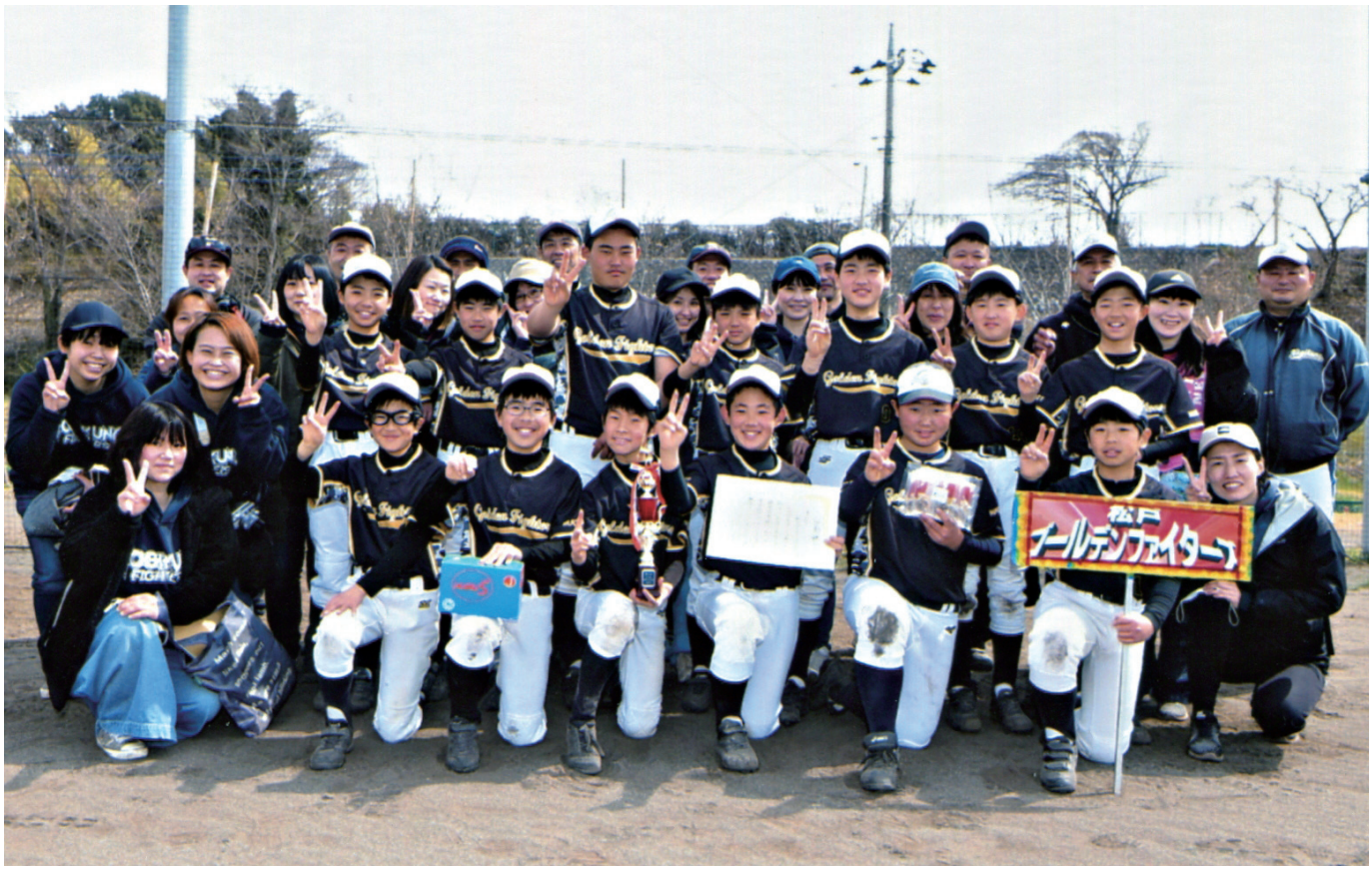
この試合を振り返れば、全イニングお互いに必死の攻防は、まさに実力派同士のハイレベルな激闘で、決勝戦に相応しい対決だった。

なお、この試合で勝ち越しのタイムリー安打を放った豊上ジュニアーズの中村選手には閉会式でＭＶＰ（最優秀選手賞）が贈られた。

～～～

優　勝　豊上ジュニアーズ

準優勝　レッドインパルス



第三位　松戸ゴールデンファイターズ

第四位　高塚新田ラークス

スナップ！

熱戦

受賞

優　勝　豊上ジュニアーズ

スナップ!

準優勝　レッドインパルス

第三位　松戸ゴールデンファイターズ

山田会長

第四位　高塚新田ラークス

ブロックリーグ戦　勝敗表

A block

順位		松戸ゴールデンファイターズ	沼南アストロズ	柏GR	FFブルーレッズ	我孫子エンゼルズ	SDGS	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	松戸ゴールデンファイターズ（松戸）		○ 4-3	○ 1-0	○ 9-0	○ 5-1	○ 8-0	5	5	0	0	10	27	4	23
2	沼南アストロズ（柏）	● 3-4		○ 7-5	○ 3-0	○ 9-7	○ 6-0	5	4	1	0	8	29	16	13
3	柏GR（柏）	● 0-1	● 5-7		○ 10-0	○ 10-0	○ 3-2	5	3	2	0	6	28	10	18
4	FFブルーレッズ（流山）	● 0-9	● 0-3	● 0-10		○ 3-2	△ 2-2	5	1	3	1	3	5	26	△21
5	我孫子エンゼルズ（我孫子）	● 1-5	● 7-9	● 0-10	● 1-11		○ 10-3	5	1	4	0	2	19	38	△19
6	SDGS（吉川）	● 0-8	● 0-6	● 2-3	△ 2-2	● 3-10		5	0	4	1	1	7	29	△22

ブロックリーグ戦　勝敗表

B block

順位		大橋みどりファイターズ	流山ライオンボーイズ	野田ベスト2021	スーパーシャークス	キングロブスターズ	フォーセブン	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	大橋みどりファイターズ（松戸）		○ 4-0	● 2-4	□ 15-0	○ 4-1	○ 12-3	5	4	1	0	8	36	17	19
2	流山ライオンボーイズ（流山）	● 0-4		○ 8-4	○ 5-4	○ 15-0	○ 8-5	5	4	1	0	8	36	17	19
3	野田ベスト2021（野田）	○ 4-2	● 4-8		● 2-5	△ 3-3	○ 4-1	5	2	2	1	5	17	19	△2
4	スーパーシャークス（柏）	■ 0-15	● 4-5	○ 5-2		□ 15-0	● 4-7	5	2	3	0	4	28	29	△1
5	キングロブスターズ（我孫子）	● 3-4	● 0-15	△ 3-3	■ 0-15		○ 6-5	5	1	3	1	3	12	42	△30
6	フォーセブン（柏）	● 3-12	● 5-8	● 1-4	○ 7-4	● 5-6		5	1	4	0	0	21	34	△13

ブロックリーグ戦　勝敗表

C block

順位		レッドインパルス	流東ウイングス	リトルベァーズ	アドウインクラブ	N・K・D・P	柏RKGs	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	レッドインパルス（松戸）		○ 3-0	○ 5-4	○ 6-0	○ 14-0	○ 19-0	5	5	0	0	10	47	8	39
2	流東ウイングス（流山）	● 0-3		○ 7-2	○ 4-1	○ 6-5	○ 5-4	5	4	1	0	8	22	11	11
3	リトルベァーズ（松戸）	● 4-5	● 2-7		○ 5-2	○ 9-2	○ 6-1	5	3	2	0	6	26	17	9
4	アドウインクラブ（柏）	● 0-6	● 1-4	● 2-5		○ 13-3	○ 10-3	5	2	3	0	4	26	21	5
5	N・K・D・P（野田）	● 0-19	● 4-5	● 1-6	● 3-10		□ 15-0	5	1	4	2	29	42	△13	
6	柏ＲＩＧｓ（柏）	● 4-14	● 5-6	● 2-9	● 3-13	■ 0-15		5	0	5	0	0	8	55	△47

ブロックリーグ戦　勝敗表

D block

順位		高塚新田ラークス	SBOX	八木南クラブ	松戸サムライ11	野田南部	TMWY	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	高塚新田ラークス（松戸）		○ 7-4	□ 15-0	□ 15-0	○ 6-1	○ 6-3	5	5	0	0	10	49	8	41
2	SBOX（柏）	● 4-7		○ 2-1	○ 5-4	△ 2-2	○ 14-2	5	3	1	1	7	32	16	16
3	八木南クラブ（流山）	■ 0-15	● 1-2		△ 1-1	○ 11-3	○ 13-0	5	2	2	1	5	26	21	5
4	松戸サムライ11（松戸）	■ 0-15	● 4-5	△ 1-1		○ 10-2	○ 7-3	5	2	2	1	5	22	26	△4
5	野田南部（野田）	● 1-6	△ 2-2	● 3-11	● 2-10		○ 13-0	5	1	3	1	3	21	29	△8
6	TMWY（柏）	● 3-6	● 2-19	● 0-13	● 3-7	● 0-13		5	0	5	0	0	8	58	△50

ブロックリーグ戦　勝敗表

E block

順位		ミラクルズ	松戸FTS	松柱ダブルジュニアーズ	キングブラックジャガーズ	流山レイソル	柏ツインオールファイターズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	ミラクルズ （流山）		○ 4-2	○ 4-3	○ 5-2	● 5-9	○ 15-1	5	4	1	0	8	36	17	19
2	松戸FTS （松戸）	● 2-4		△ 1-1	○ 3-0	○ 6-0	○ 14-1	5	3	1	1	7	26	6	20
3	松柱 ダブルジュニアーズ （松戸）	● 3-4	△ 1-1		△ 1-1	○ 1-0	○ 5-2	5	2	1	2	6	11	8	3
4	キング ブラックジャガーズ （我孫子）	● 2-5	● 0-3	△ 1-1		○ 7-0	○ 7-3	5	2	2	1	5	17	12	5
5	流山レイソル （流山）	○ 5-9	● 0-6	● 0-1	● 0-7		○ 2-0	5	2	3	0	4	11	22	△11
6	柏ツイン オールファイターズ （柏）	● 1-15	● 1-14	● 2-5	● 3-7	● 0-2		5	0	5	0	0	7	43	△38

ブロックリーグ戦　勝敗表

F block

順位		豊上ジュニアーズ	マリンベァーズ	セントラルパークス	NKベストフレンズ	MSソフトボール	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズ（柏）		○ 5-0	○ 9-3	○ 5-1	□ 15-0	○ 15-0	4	5	0	0	10	49	4	45
2	マリンベァーズ（流山）	● 0-5		○ 6-5	○ 7-2	□ 15-0	○ 6-1	5	4	1	0	8	34	13	21
3	セントラルパークス（松戸）	● 3-9	● 5-6		○ 7-3	○ 9-8	● 5-6	5	2	3	0	4	29	32	△3
4	NKベストフレンズ（越谷）	● 1-5	● 2-7	● 3-7		○ 7-0	○ 5-0	5	2	3	0	4	18	19	△1
5	MSソフトボール（松戸）	■ 0-15	■ 0-15	● 8-9	● 0-7		○ 14-5	5	1	4	0	2	22	51	△9
6	GBC流山（流山）	● 0-15	● 1-6	○ 6-5	● 0-5	● 5-14		5	1	4	0	2	12	45	△33

●●● ブロックリーグ戦　概評 ●●●

◆Ａブロック

５戦全勝した松戸ゴールデンファイターズの安定した実力がひと際目だった。同チームは、２位となった沼南アストロズと３位の柏ＧＲにはともに１点差の勝利だったが、確実に勝利したことに加えて、５試合での総失点４（１試合平均０．８点）は何よりもデフェンスの良さを証明している。

２位と３位となった沼南アストロズと柏ＧＲも実力は高かったが、ともに松戸ゴールデンファイターズに惜敗したのが致命傷となった。

４位以下は勝ち星の差で順位が決まったが、最下位のＳＤＧＳは１引分けを挙げた。

◆Ｂブロック

６チーム全体で熾烈な星の潰しあいを演じて、リーグ戦では最も激戦を展開したブロック。首位となった大橋みどりファイターズは、不戦１勝を含めて最終的には４勝も、野田ベスト２０２１に敗れて４勝１敗となり、流山ライオンボーイズと同成績となった。しかし、流山ライオンボーイズには、直接対決で勝利したことが大きかった。

逆に流山ライオンボーイズは、４勝１敗ながら唯一大橋みどりファイターズに敗れたのが痛恨で２位。なお、この２チームの実力は互角と思われた。

３位以下は星の潰しあいが激しく、１勝４敗で最下位となったフォーセブンまで、各チームの実力はかなり拮抗していた。

◆Ｃブロック

５戦全勝で首位となったレッドインパルスの実力が突出していた。３位となったリトルベァーズには僅差勝ちしたものの、その他の４試合は全て完封勝ちでこれは見事。ちなみに、同チームの５試合での総得点４７点（１試合平均９、４）はリーグ戦全体ではＮＯ．１で、総失点４点はＡブロックの松戸コールデンファイターズと並ぶ最少記録。

４勝１敗で２位となった流東ウイングス以下の順位は、勝星一つの差で決まったが、下位のＮ・Ｋ・Ｄ・Ｐと柏ＲＩＧＳ戦は、新型コロナウイルスのまん延防止措置適用などの関係で柏ＲＧＳＴが試合出来ず、結果はＮ・Ｋ・Ｄ・Ｐの不戦勝となった。

◆Ｄブロック

高塚新田ラークスが不戦２勝を含めて５戦全勝で、最終的に首位となった。２位は高塚新田ラークスに敗れたＳＢＯＸが、野田南部との引分けはあったが３勝１敗１引分けで決まり、以下４チームの順位も引分けを挟んで勝星一つの差で決まった。

最終的な順位決定に大きく影響したのが３位となった八木南クラブで、一時は実現すれば高塚新田ラークス戦の結果（勝利）次第では、三つ巴で首位となる可能性もあっただけに、同チームの新型コロナウイルスまん延防止措置適用にともなう不戦敗は痛かった。なお、同チームは不戦敗を含めて最終的に２勝２敗１引き分けて、４位の松戸サムライ１１とは引分けの同成績となったが、順位決定は得失点差で上廻ったため３位となった。

◆Ｅブロック

連勝を続けていたミラクルズが、終盤流山レイソルに敗れて４勝１敗となったものの、３勝１敗１引分けで追随していた２位の松戸ＦＴＳとの直接対決で既に勝利していたため、流山レイソルに敗れた時点でも既に首位は確定していた。

２位となった松戸ＦＴＳは、ミラクルズ戦の敗戦と終盤に牧柱ダブルジュニアーズと引き分けたことで３勝１敗１引分けの成績に終わった。

また、３位から５位までの３チームは、活発な星の潰しあいを演じて各チームとも２勝を挙げたが、引分けと負け数の差で松柱ダフルジュニアーズが３位、、キングブラックジャガーズが４位、、流山レイソルが５位となった。

◆Ｆブロック

ＭＳソフトボール戦の不戦勝はあったが、対戦した４試合に完勝した豊上ジュニアーズの実力が一際抜けていた。同チームが不戦試合を除く４試合で挙げた総得点３４点（１試合平均８．５）と、総失点４点（１試合平均１）が充分それを物語っている。

不戦１勝を含む４勝１敗で２位となったマリンベァーズは、豊上ジュニアーズには敗れたものの、２位を手堅く確保した。

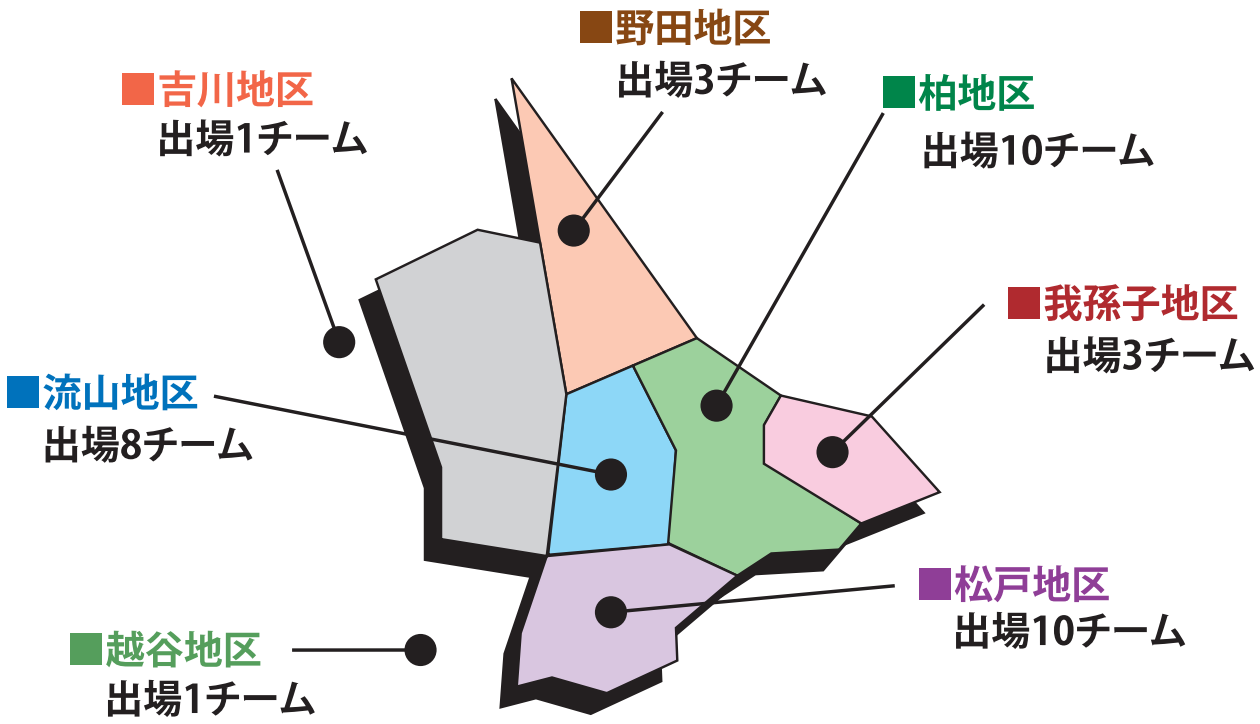
３位以下の各チームは、首位争いとは異なった次元で熾烈な順位争いを展開した。最終的にセントラルパークスとＮＫフレンズは２勝して同成績となったが、順位は直接対決でセントラルパークスが勝利しているため上位となった。ＭＳソフトボールとＧＢＣ流山も１勝４敗で同成績となったが、ＭＫソフトボールが直接対決で勝っているため上位となった。

第38回 柏流さよなら大会 参加チーム名簿

地区	チーム名	チーム編成
◆我孫子地区③		
	キングブラックジャガーズ	リトルジャガーズ、ブラックタイガース、リトルキング
	キングロブスタズ	白山クラブ、湖北スパローズ、ブラックバード
	我孫子エンゼルス	新木野コンドル、久寺家エラーズ、布佐スパイダーズ、リトルイーグルス
◆柏地区⑩		
	スーパーシャークス	光ヶ丘シャークス、光フェニックス、加賀シャトルズ
	柏ツインオールファイターズ	新柏ツインズ、千代田ファイタズ、北柏オールスターズ
	アドウインクラブ	ビクトリージャガーズ単独
	柏ＧＲ	柏南ギャランツ、増尾レッドスターズ
	フォーセブン	四小地区少年野球クラブ、豊四季イーグルス、若草、旭町サンライズ
	豊上ジュニアーズ	単独チーム
	ＴＭＷＹ	伊勢原ジャガーズ、柏ヤンガーズ、トライスター、松葉ニューセラミックス
	ＳＢＯＸ	北柏スーパーナイン、柏ボーイング、大船コンドルズ、
	沼南アストロズ	沼南ファイヤーズ、大津が丘ファイターズ、高柳サンダース、沼南フラワーズ
	柏りグス	酒井根東グリーンズ、北柏レッドファイターズ イリヤーズ
◆流山地区⑧		
	ミラクルズ	流山ホークス、カージナルス
	流山ライオンボーイズ	東深井ボーイズ、小田急ライオンズ
	流山レイソル	初石クーガーズ、江戸川台フェニックス、東深井ボーイズ 流山シャークス
	マリンベァーズ	流山マリーンズ、加岸ベァーズ
	ＦＦブルーレッズ	長崎ＦＬＢ、南流ファィターズ、鰭ヶ崎ジュニアフインズ
	流東ウイングス	向小金ファイターズ、ありんこアントス、前ヶ崎クラブ
	八木南クラブ	単独チーム
	ＧＢＣ流山	単独チーム
◆野田地区③		
	野田ベスト２０２１	清水タイガース、野田ロッキーズ、レッドファイターズ、野田ロッキーズ
	野田南部	南部ルーキーズ、野田ブレーブス中地、山崎クーガーズ、西新田子ども会
	Ｎ・Ｋ・Ｄ・Ｐ	七光台ヤンキース、中ねヤンキーズ、上町少年野球部 野田ドンキーズ

地　区

チーム名	チーム編成
◆松戸地区⑩	
松戸ゴールデンファイターズ	野菊野ファイターズ、松戸スラッガーズ
牧柱ダブルジュニアーズ	牧の原ジュニアーズ、八柱サンジュニアーズ、
レッドインパルス	常盤平ボーイズ、松戸ＫＳカージナルス
松戸サムライ１１	根木内ヤングスターズ、ソフトボールクラブ大和
	矢切コンドルズ
高塚新田ラークス	単独チーム
リトルベァーズ	単独チーム
セントラルパークス	セントラルパークス、地域ソフトボールクラブ
大橋みどりファイターズ	単独チーム
松戸ＦＴＳ	小金原ビクトリー、にしくぼフェニックス
ＭＳソフトボール	単独チーム
◆吉川地区①	
ＳＤＧＳ	吉川ストーム、吉川ドリームス、吉川グリーンズ
◆越谷地区①	
ＫＮベストフレンズ	北越谷少年野球クラブ、荻島ナインズ



柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
1	1985 昭和60年	15	柏友ジャニーズ （柏）	カージナルス （流山）	黒葉留民図 （柏）
2	1986 昭和61年	24	タイタンズ （流山）	八木北オールスターズ （流山）	柏友トライスター（柏） 西原アローズ（柏）
3	1987 昭和62年	20	柏ライナーズ （柏）	中新宿ウィングス （柏）	千代田ファイターズ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
4	1988 昭和63年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷アトミック （柏）	四小+柏友（柏） 八木北小A（柏）
5	1989 平成元年	18	柏友ジャニーズ （柏）	宮園イーグレッツ （流山）	千代田ファイターズ（柏） つくしアトミック（柏）
6	1990 平成2年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷ファイブス （柏）	豊四季イーグルス（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
7	1991 平成3年	20	流山ミラクルズA （流山）	伊勢原ジャガーズ （柏）	増尾クラブ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
8	1992 平成4年	20	南流クラブ （流山）	ありんこアントス （流山）	増尾クラブ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
9	1993 平成5年	20	トライスター （柏）	八木南クラブ （流山）	千代田ファイターズ（柏） 加岸&西平井パワーズ（流山）
10	1994 平成6年	20	高野台ジャガーズ （柏）	柏フェアB （柏）	増尾オールスターズ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
11	1995 平成7年	28	新松戸スターズ （松戸）	流山ミラクルズA （流山）	オール長崎（流山） サクセス（流山）
12	1996 平成8年	21	流山レイソル （流山）	三小クラブ （柏）	流山ミラクルズA（流山） 新松戸スターズ（松戸）
13	1997 平成9年	19	柏ボーイング& トライスター（柏）	流山ミラクルズA （流山）	三小クラブ（柏） 柏ドリームス（柏）
14	1998 平成10年	21	向小金ファイターズ （流山）	スーパースターズA （流山）	清水タイガース（野田） 流東クラブ（流山）
15	1999 平成11年	20	松葉ニューセラミックス （柏）	千代田ファイターズ （柏）	ミラクルズ（流山） 小金原ビクトリー（松戸）
16	2000 平成12年	24	ミラクルズ （流山）	長崎FLB （流山）	清水タイガース（野田） 流山レイソル（流山）
17	2001 平成13年	22	流山レイソル （流山）	南流ファイターズ （流山）	リトルベアーズ（松戸） 小金原ビクトリー（松戸）
18	2002 平成14年	35	松葉ニューセラミックス （柏）	流山レイソル （流山）	グッバイスワローズ（松戸） ミラクルズ（流山）
19	2003 平成15年	37	ファイヤーブレーブス （流山）	高野台ジャガーズ （柏）	スカイヤーズ （松戸）
20	2004 平成16年	42	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	高野台ファイターズ （柏）
21	2005 平成17年	39	ミラクルズ （流山）	増尾オールスターズ （柏）	にしくぼフェニックス （松戸）
22	2006 平成18年	42	グレイトレイソル （流山）	中松ボンバーズ （我孫子）	フォーセブン （柏）
23	2007 平成19年	46	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	JTBスターズ （柏）
24	2008 平成20年	57	マリンベアーズ （流山）	大津が丘ファイターズ （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
25	2009 平成21年	51	松飛台メジャーズ （松戸）	ニューメジャーズ （松戸）	ヤングスターズ （松戸）

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
26	2010 平成22年	59	小金原ビクトリー （松戸）	BDスターズ （野田）	アドウィンクラブ（柏） フレンズ（柏）
27	2011 平成23年	64	フレンズ （柏）	ブラックホークス （我孫子）	常盤平ボーイズ （松戸）
28	2012 平成24年	58	流山マリンベアーズ （流山）	松葉ドリームス （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
29	2013 平成25年	58	増尾オールスターズ （柏）	フレンズ （柏）	松戸J&V （松戸）
30	2014 平成26年	49	松戸スターズ （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	野田南部Y （野田）
31	2015 平成27年	49	加岸ジュニアファイターズ （流山）	JCミックス （柏）	増尾オールスターズ （柏）
32	2016 平成28年	42	ミラクルズ （流山）	柏DJM （柏）	SBOX （柏）
33	2017 平成29年	39	三郷フレンズ （三郷）	ニューメジャーズ （松戸）	松戸ゴールデンファイターズ （松戸）
34	2018 平成30年	36	野田南部R （野田）	フレンズ （柏）	ジャラーズ （我孫子）
35	2019 令和元年	38	清水タイガース （野田）	アドウィンクラブ （柏）	柏MJT （柏）
36	2020 令和2年	40	リトルブラックス （我孫子）	豊上ジュニアーズ （柏）	野田ベスト （野田）
37	2021 令和3年	40	● 松戸ゴールデンファイターズ（松戸）　● フレンズ（柏）　● 豊上ジュニアーズ（柏） ● 新柏ツインズ（柏）　● MTスターズ（柏）　● 光ヶ丘シャークス（柏）		
38	2022 令和4年	36	豊上ジュニアーズ （柏）	レッドインパルス （松戸）	松戸ゴールデンファイターズ （松戸）

※第37回大会は、コロナの緊急事態宣言ため日程調整がつかず、決勝大会を行わずブロックリーグ戦の1位チームが優勝扱いとなりました。

柏流さよなら少年野球大会開催要項（令和２年 12 月一部改正）

大　会　名　柏流さよなら少年野球大会

主催・主管　柏流さよなら少年野球大会運営委員会

後　　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社共同写真企画　朝日スポーツキッズ
流山ボーイズ（全日本ボーイズリーグ加盟）　流山ロータリークラブ

開催期間　毎年１月成人の日（祝日）を初日として、同日流山ボーイズのグランドにて開会式を行い、以降２月一杯までをブロックリーグ戦（グランドはチームのグランド）に当てる。なお、ブロックリーグ戦は近年出場チームが各種大会と競合するケースが多いので、抽選会終了後開会式を待たずに早めに始めても良い。決勝大会は各ブロックの首位チームによりトーナメント方式で行なう。同大会の開催日は、原則として２月中旬から下旬とし、最終日（三位決定戦・決勝戦）は全て流山ボーイズのグランドで行う。

参加チーム　地域は原則として東葛地区を対象とするが『友軍』チームの出場も可。

出場資格　全て６年生のみ。単独チームで出場出来ない場合は、５チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、２チームの出場も可。
出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。

試合方法　①参加チームを数ブロックに分けてそれぞれ総当りリーグ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。なお、順位の決定は勝点制とし、勝利が２点、引き分け１点、敗戦０点とし、勝ち点の最も多いチームを上位とする。

②リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。

１．対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。

２．但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、３チームでの最下位となる。

③全試合７回または時間（シートノックを除き１時間４５分）制で、リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。
但し、決勝大会はすべてコールドゲーム（4回以降7点差）の適用がある。

④７回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし延長戦は行なわない。但し、決勝大会に限っては特別ルール(一死満塁で継続打者)の適用（但し、延長は２回までででそれ以降は抽選）がある。

⑤投手の投球規定回数は一試合４回(12 アウト)、一日 7 回(21 アウト）までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

⑥柏流さよなら少年野球大会の特別ルール

1．６年生最後の大会なので、控え選手の出場機会を出来るだけ多くする。そのために、下記の特別ルールを適用する。

2．投手以外の**「指名打者」２名を必ず出場させる。**メンバーが足りない場合はこの限りではないが、ベンチに選手がいる場合は指名打者は必ず出場させなければならない。なお、指名打者は守備につけても良い。

⑦その他のグランドルールは、当該グランドの特別ルールを適用する。

審判当番　リーグ戦については各ブロック内で話合って決定する。決勝大会については原則として役員が担当するが出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長　リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時にリーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２

小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９

報告は出来るだけＦＡＸでお願いいたします。

試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。

リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。なお、**ブロック長に一任して決定した日程を２試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は０－１０）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明して徹底させて下さい。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会　　費　１チーム　５０００円（抽選会の時に納入する）

提出書類　抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、ＴＥＬ、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表　　彰　優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞と、個人賞は流山ボーイズから。他に流山ロータリークラブからの協賛もあり。

付記事項　開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参してください。団旗の持込も歓迎します。

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ

昭和６０年に柏市内北部の柏友ジャニーズ、四小地区少年野球クラブと、同東部地区の黒葉留民図、流山市のカージナルスほか流山北部地区のチームが中心となって、６年生だけ出場の大会としてスタート。

初年度は出場チームも少なく、３ブロックのリーグ戦により、決勝戦はブロック１位チーム同士の総当たり制としたが、二年目から出場チームが増加したことで、以降４ブロックによるリーグ戦制に改めてこの方法を定着させた。同時に、決勝大会は各ブロック１位チームによりトーナメント戦で優勝を決め、三位決定戦は行わず同成績としてこの方法を継続して来たが、平成１５年の第１９回大会から三位決定戦を設定した。

大会名は、当初出場チームが柏市と流山市だけだったことから、両市の頭文字をとって「柏流」とし、さらに６年生にとっては野球が出来るのが時期的にも最後となることから、「さよなら」を後につけて「柏流さよならリーグ少年野球大会」とした。なお、出場資格を６年生だけに限定したことは、開催時期が新メンバー（５年生以下）の研修大会であるカリフ・ＳＧ旗争奪少年野球大会と重なることが最大要因。また、各市では秋季大会が終了した後で、時期的にも６年生だけの単独チームは編成が難しいことから、４チームまでの混成が可能で、人数が多い場合は２チーム以上での出場が認められるのも特徴。

さらに開催期間が１１月下旬から翌年３月上旬までの寒い時期に加え、天候及びグランドコンデションや確保面でもハンディがあること、指導者が他の大会と掛け持ちなどの理由から開会式は行わず、グランド確保、日程編成及び運営も全て各ブロックの当該チームに一任して来た。そして、決勝大会についても当初は当該チーム同士でグランド、日時を決めて行い、表彰式（閉会式）についても当該チームによる自主運営としてきた。

大会の定着にともない、平成６年以降に松戸市と野田市からの出場チームがあり、さらに平成１４年には我孫子市と三郷市から、そして近年はつくば市、成田市、吉川市、東京葛飾からも出場チームがあった。

ちなみに、当大会は平成１１年にボーイズリーグ・流山クラブ（現流山ボーイズ）のグランド（当時流山市東深井）を使用して初めて開会式を開催したが、これを機に平成１２年度から大会の正式な組織（柏流さよならリーグ少年野球大会運営委員会）が結成された。ともない以降の大会開催日を毎年初日は１月の成人の日（祝日）とし、決勝大会も２月初旬から３月上旬迄に決めて、最終日は流山ボーイズのグランドで開催することも決まった。

当大会の後援は、発足当初は使用球が昭和ゴム株式会社のＳＧボールであったが、同社が平成１５度一杯で軟式ボールの生産から撤退したため、代わって新たにダイワマルエス株式会社が後援となった。また、平成１２年度から上記のボーイズリーグ・流山ボーイズが加わり、さらに写真撮影の共同写真企画も平成１４年度から正式に加わった

大会名も従来の「柏流さよならリーグ少年野球大会」から、平成１５年度に現在の「柏流さよなら少年野球大会」に改称した。

柏流さよなら少年野球大会役員

（令和３年８月一部改選）

会長	山田晃一	流山	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	平田宗久	流山	千葉県少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務			流山少年野球連盟役員
副会長	加納貞夫	野田	野田市少年野球連盟役員
副会長	藤井豊務	柏	柏市少年野球連盟役員
事業部長	小泉博康	流山	流山市少年野球連盟役員
事業副部長	八鍬昌次	流山	流山市少年野球連盟副会長
運営委員	松本秀樹	流山	江戸川台フェニツクス
運営委員	亀田成美	流山	流山ホークス
運営委員	西ケ迫勝宏	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	内田欣也	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	山本拓	野田	西新田子ども会
運営委員	池田進一	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	柿崎稔	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	小田部英彦	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	濱田健	柏	松葉ニューセラミックス
運営委員	上村茂樹	柏	伊勢原ジャガーズ
運営委員	我妻和憲	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	内山淳	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田清光	松戸	松戸市少年野球連盟役員

第38回　柏流さよなら少年野球大会　会計報告

◆収入の部　合計　￥ 175,000

大会参加費	@5,000×36チーム	￥175,000

■寄贈品　㈱ダイワマルエス　(ボール2ダース･6個入り×4箱)

◆支出の部　合計　￥158,041

第37回大会よりの繰越金	▲￥ 17,632
抽選会会場費	￥ 2,510
グランド使用料(1/6･10の降雪により河川敷は使用できず)	￥ 0
試合用ボール代	￥ 13,860
賞状代	￥ 10,000
トロフィー代	￥ 2,039
冊子データ作成費	￥ 80,000
編集費(冊子作成)	￥ 20,000
審判員･本部役員	￥ 12,000

収入 ￥175,000円－支出 ￥158,041円＝収支合計　￥16,959円は第39回大会に繰り越します。

2022年3月13日　会計担当　平田　宗久

Forever Glory Days!

嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・イベント・その他撮影承ります。

NER企画

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

TEL&FAX
04-7197-0115

緊急連絡先
070-5464-4481

NAGAREYAMACLUBBOYS

流山クラブボーイズ中学部

新入部員募集

流山クラブボーイズ中学には、毎年、各地域の少年野球連盟から多くの少年達が入部し活躍を続けています。
そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手やプロ野球選手になった選手もいます。
流山クラブボーイズ中学部では、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ、一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。
みなさん是非一度、流山クラブボーイズに見学・体験にお越し下さい！！

主な進学先

天理高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
習志野高校	市立柏高校	安田学園高校
木更津高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
東葛飾高校	県立柏高校	東洋大牛久高校
浦和学院高校	帝京高校	流通経済柏高校
春日部共栄高校	二本松学舎高校	常総学院高校
聖望学園	日大豊山高校	埼玉栄高校
市立船橋高校	関東第一高校	他

主な戦績

■春季全国大会　出場12回
■全国選手権大会　出場14回　（ベスト4＝2回）
■ジャイアンツカップ　出場3回　（ベスト8＝1回）
■関東大会　出場19回　（優勝1回、準優勝1回）
■東日本大会　出場17回　（優勝1回、準優勝1回）
■関東ボーイズリーグ大会　（準優勝1回）

URLhttp://nagareyamaboys.jp

※チームのスケジュールは、ホームページ上から確認できます。
また、お問合せもホームページ上からお問合せ可能です。

公益財団法人
日本少年野球連盟 BOYS LEAGUE

見学・体験大歓迎！

江戸川河川敷グランドH面にて練習を行っています。

※試合等で不在となるケースもございますのでHP上若しくは代表までお問合せ下さい